

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 茶谷・内藤
電話 782-2111(内 471・224)

新種のメダカ「ドピンドピンメダカ」を公開します

平成25年12月に琉球大学熱帯生物圏研究センター山平教授らがインドネシアスラウェシ島で採集し、共同研究協定を結ぶ東山動植物園で繁殖させてデータを収集しているメダカがこのたび新種に認定され、「ドピンドピンメダカ」と命名されました。

つきましては当該メダカを下記のとおり当園世界のメダカ館で公開します。

当園で飼育するメダカが新種に認定されたのは、平成27年のティウメダカにつづき2例目となります。

記

1 公開について

(1) 開始日

平成30年7月24日(火)

(2) 場所

動物園北園 世界のメダカ館1階

2 これまでの経緯について

平成25年12月

琉球大学熱帯生物圏研究センター山平教授チームが、インドネシアのスラウェシ島中部の dopingdoping 川で新種と思われるメダカを発見し持ち帰る。

共同研究協定を結ぶ東山動植物園世界のメダカ館にて、6匹(オス3匹、メス3匹)の管理・繁殖・系統保存を開始し、これ以降、飼育下での観察継続と飼育下データ、成魚や卵を琉球大学へ提供する。

平成29年10月

琉球大学と当園で論文を作成し、科学雑誌「Copeia」へ投稿。

平成30年4月

「Copeia」へ正式に論文が受理される。

平成30年7月

「Copeia」2018年第二巻に新種「ドピンドピンメダカ」として掲載。

3 特別トークの開催について

7月29日(日)14時から、今回の新種認定に係る特別トークを世界のメダカ館展示水槽前で行います。

「ドピンドピンメダカ」について

- 学名 *Oryzias dopingdopingensis*
- 英名 Doping-doping ricefish
- 和名 ドピンドピンメダカ
- 生息地 インドネシアスラウェシ島ドピンドピン川
- 特徴 黄味をおびた明るい銀白色の体色で、オスは威嚇や求愛時に体全体が黒っぽくなり、体側に5～8個の黒斑点の模様が出る。成魚標準体長 35 mm、稚魚 4.5 mm。

【写真】



新種のみダカ「ドピンドピンメダカ」